

車 両 概 要

I 変更点概要

〔1〕50年排出ガス浄化対策

50年排気ガス規制に対応するために、現行エンジン18R, M, M-Eに酸化触媒装置を含む各種対策を施した18R-U, M-U, M-EUエンジンを採用し, CO, HC, NO_xを低減しました。

- (1) 酸化触媒装置……………CO, HCの低減
- (2) 2次空気供給装置……………CO, HCの低減
- (3) 排気ガス再循環装置……………NO_xの低減
- (4) 点火時期制御装置……………HC, NO_xの低減
- (5) 減速制御装置……………HCの低減
- (6) 補助制御装置……………暖機運転中の運転性, 安全性の向上
- (7) エンジン関係改良

① シリンダ ヘッド (MX系のみ)

燃焼室形状を変更し, バルブ傾斜角を小さくして, 燃焼効率の向上をはかりました。

② インテーク マニホールドのライザ部面積の拡大 (MX系のみ)

ライザ部の予熱面積を広くして, 混合気の霧化, 分配を改善し, 暖機性を向上しました。

③ エキゾースト マニホールドの形状変更

マニホールド内で未燃焼ガスを再燃焼させるのに適した形状変更を行ないました。

④ 燃料装置

(i) キャブレータ

排気ガス浄化のため, 補助加速ポンプと制御用負圧取出口を追加し, オートチヨークには電熱チヨークを採用しました。

(ii) E F I装置

従来の吸気圧力検出方式より更に検出精度の高い吸気流量検出方式を採用しました。

⑤ エア クリーナ

吸気温度に応じて自動切替するホット エア インテーク システムを採用しました。(M-U, 18R-Uのみ)

⑥ 点火装置変更

点火系の信頼性向上のため全車セミトランジスタ点火方式にしました。

車 両 概 要

〔2〕 熱 害 対 策

50年排出ガス規制対策にともない、熱害に対しても十分な配慮を施し、安全性を確保しました。

(1) エンジン関係

- ① 酸化触媒装置の過熱を防止するシステムを採用しました。
- ② エキゾースト マニホールドに遮熱用のシユラウドを装着しました。(MX系のみ)

(2) 配 管 関 係 (MX系のみ)

- ① ブレーキ、燃料配管経路の一部変更
熱影響を少なくするために、ブレーキ及びフューエル チューブの床下中央部の配管経路を一部変更し、熱源から遠ざけました。

(3) シヤシ関係の要所に遮熱板設置

リヤ サスペンションのゴム プッシュ部、プロペラシヤフトのセンタ ベアリング部に遮熱板を設けました。

(4) ボ デ ー 関 係

① 排気系に遮熱対策

フロント エキゾースト パイプから、メイン マフラまでの排気管に遮熱対策を実施しました。更に、テール パイプにデイフューザを設けて、排気ガス温度の低下を図りました。

② フロア遮熱板

排気系上部フロアの要所に遮熱板を設けました。

〔3〕 安全性、操作性の向上、充実

(1) ブレーキ フルード レベル ウォーニングの標準装着

ブレーキ フルードが減少すると、ドライバに警告するウォーニング装置を標準装着しました。

(2) 連続ウエビング シート ベルトの装着

前席用シート ベルトを連続ウエビング式とし、シート ベルトの操作性を向上しました。

(3) 排気系、点火系、充電系にロック付配線コネクタを採用

ワイヤ ハーネス結線の信頼性向上と誤配線防止のため、排気系、点火系、充電系にロック付コネクタを採用しました。

(4) 過熱警報装置の装着

排気系の過熱による車両部品等の熱害を防ぐため、排気系上部リヤ、フロアに設けた温度センサーにより異常温度を検出し、排気温ウォーニング ランプ(新設)を点灯させて、ドライバーに警報します。

生産工場およびフレームNo.

〔4〕 その他一般機能の変更

- (1) 全車、ワイパ連動ウオツシヤを廃止し、ワイパとウオツシヤをそれぞれ単独操作としました。
- (2) 車両重量増加にともない、フロント、リヤ サスペンションの仕様を変更しました。
- (3) エンジン性能の変更に伴ない、デイファレンシヤル ギヤ比を変更しました。
- (4) MX系の5段トランスミッションはすべてワーナー タイプ シンクロメツシユ式としました。

フレームNo.	打刻開始、打刻開始時期
R X 12系	R X 12-140001 (トヨタ自工) 昭和50年 8月 1日 R X 12-750001 (トヨタ車体)
R X 22系	R X 22-100001 (トヨタ車体)
R X 28系	R X 28-025001 (関東自工)
M X 10系	M X 10-080001 (トヨタ自工)
M X 20系	M X 20-075001 (トヨタ車体)
M X 27系	M X 27-005001 (関東自工)